

白樺

No.4 令和4年7月22日(金)発行

【厚真中学校教育目標】

豊かな心を持ち、自ら学び、明るく、たくましく生きる人間をめざす



- ・豊かな心を持ち支え合う生徒 (心)
- ・自ら学び正しく判断する生徒 (学)
- ・希望に燃え明るく努力する生徒 (望)
- ・鍛え合いたくましく生きる生徒 (鍛)

心をプラスに切り換える

厚真町立厚真中学校長 北尾 稔

苦しいことがあったら、微笑んでみよう
 寂しいことがあったら、明るい言葉をかけてみよう
 うつむいては人生は開けない。二度とない人生だもの
 春の光のように、みんなのまわりをあたためていこう

これは一燈円同人の石川洋氏が著した『感謝にまさる能力なし』の中に出てくる詩ですが、いま、苦しい、寂しい思いをしている方があったら、これを読めば勇気づけられるのではないのでしょうか。

人間は、誰しも、幸せで楽しい一生を過ごしたいと願っています。それにもかかわらず、思いがけない悲しみ、苦しみに出合う、これが人生なんだと思います。しかし、そんなとき、いつまでも落ち込んでいては、決して自分の人生にプラスにはなりません。『人間は、自分の考えているような人間になる』といわれますが、マイナスの発想ばかりしては、常にマイナスの人生しかもたらさないのです。私たちは大きな苦労や悲しみを乗り越えることによって、人の心の痛みのわかる人間に成長するといわれます。周りの人たちにも目を向け、あたたかい心で手助けをしていく、そういう前向きな心で生きていきたいものです。

学校祭 (9/16)

今年度の学校祭について、実施内容等をお知らせします。

- 1 日時 令和4年9月16日(金)
- 2 内容 学年活動(演劇・壁新聞)
縦割活動(モザイクアート)
生徒会企画(生徒による有志発表)
- 3 昼食 給食とバザーの組み合わせ
- 4 その他 生徒と教員のみで実施し、一般公開はなし。前日リハーサルの保護者公開は実施。演劇等について動画配信を予定。

授業公開・進路説明会 (7/13)

7月13日(水)、授業公開と進路説明会を実施しました。お忙しい中、多くの保護者の皆様にご来校いただきましてありがとうございます。新型コロナウイルスの感染状況は未だ予断を許さない状況ですが、可能な限り生徒の様子をご覧いただく機会を設けたいと考えています。

進路説明会では、主に令和5年度道立高等学校入学者選抜における変更点を説明しました。①当初出願した学科に関係なく、どの学科にも出願変更できる。②推薦枠が学校ごとに設定され、中学校長推薦から自己推薦に変わる。(配付資料をご確認ください)

8月の主な予定

10	水	学校閉庁日(~15日)
11	木	山の日
18	木	2学期始業式
19	金	学校祭特別日課開始

26	金	全学年学力テスト
27	土	数検
31	水	芸術鑑賞会(札幌、福祉センター)

〈私が中学生だった頃～厚中OBに聞いてみた～〉

今回は、2018年に厚真中を卒業された高田 華凜さんにインタビューさせていただきました。

——— 「中学校」と聞いて、何を最初に思い出しますか？

- まずは、先生ですね。私が2、3年生の時に担任だった先生がとても印象に残っています。最初の自己紹介の時に、先生が自分の事を「モアイ」と言ったことがきっかけでクラスのスローガンが「最愛」になったり……親しみやすく面白い先生でした。卒業してからも年賀状を送ってくれたことが嬉しかったです。

——— 卒業アルバムにもクラスの楽しそうな写真が多いですね。

- 当時はそこまで意識していませんでしたが、いま改めて見ると楽しかったんだなと思います。特に学校行事では、女子が中心になって真剣に取り組んでいました。3年生の学校祭ではクラス合唱曲をたくさん練習して、最優秀賞に選ばれました。本当に嬉しくてみんなで泣いていたのを覚えています。

——— 卒業後はどんなことをしていますか？

- 厚真高校に進学して、そのあとは札幌の専門学校で芸能マネジメントの勉強をしています。昔から芸能の裏方に興味はありましたが、震災時に厚真を訪れてくれた方々から元気をもらったことをきっかけに、本格的に勉強してみたいと思いました。また、最近厚真町や北海道でできる復興支援のイベントや事業にも興味を持っていて、自分が何をできるか考えています。

——— 今の中学生たちへメッセージをお願いします。

- 中学校を卒業して高校に進むと、クラスメイトたちとなかなか会えなくなってしまうと思います。いま振り返ると、中学時代の友達たちと昼休みに体育館でバレーをしたことや色んな話をしたことみたいに、楽しく遊んでいた記憶がたくさん残っています。勉強するときはしっかり勉強して遊ぶときには思いきり遊ぶと、きっと素敵な中学校生活になると思います。

このコーナーは、教育魅力化支援員の加藤千昇さんに担当していただきました。

ピンクシャツプロジェクトについて

7月11日(月)から、生徒会が主体となって標記プロジェクトに取り組んでいます。生徒全員が「いじめ」につながる行為を自制したり抑止したりする態度と姿勢を育て、いじめを許さない風土をつくることを目的としています。なお、いじめ等で悩んだり困ったりしている場合は、担任、教頭、養護教諭やSC等にお伝えください。【相談窓口は 北海道教育委員会(0120-3882-56) 北海道警察(0120-677-110)】

夏季休業中における学校閉庁日の設定について

北海道教育委員会では、平成30年度(2018年度)から「学校閉庁日」の取組を全ての学校で実施しています。つきましては、夏季休業期間における学校閉庁日を次のとおり設定することとしましたので、御理解と御協力をお願いいたします。なお、学校への連絡等はこの期間外にお問い合わせください。また、緊急連絡が必要な場合には次の連絡先までお願いします。

- 1 学校閉庁日 ・令和4年(2022年)8月10日(水)～8月15日(月)
- 2 緊急連絡先 ・厚真町役場代表番号 27-2321 ※ 教育委員会をお呼び出してください

高田 華凜(たかだ かりん)さん

厚真町出身。中学時代は生活委員長や学校祭の実行委員として、様々な行事活動の裏方としても活躍。高校時代まで厚真で過ごした後、札幌の専門学校に進学。いまは芸能マネジメントなどの勉強をしながら、幅広く進路を考えている。



京都へ修学旅行に行った時の写真、おそろいのポーズで撮影(前列中央が高田さん)